

高曽根山のブナ太郎見学

大竹 幹衛

- 山行年月日:2021 年 2 月 14 日
- メンバー:宮城市作、大竹尚子、齋藤美和子、大竹幹衛
- コースタイム:林道除雪終点 9:17～大川入川左股の橋 9:40～ブナ太郎 11:30-12:30～ 林道除雪終点 13:55



高曽根山へ分け入って行く

昨日は福島県沖を震源地とする震度6強の地震があり、郡山の佐藤敏二夫妻、佐藤伸也さんは不参加となってしまった。裏磐梯の桧原と大川入川の分岐点に9時集合。

林道が除雪されていて 1km 弱程、車が入れた。山スキーの身支度で行動開始。雪はしまっており歩きやすい。檜原集落から 2 本目の左から流入する沢に入る。沢と言ってもはじめは広い雪原で好天も手伝い気持ちがいい。しばらくすると高曽根山がひときわ高く見えて来る。最初の分岐は左股に入ると木の幹に赤い



テープが巻かれた目印が見える。

ここからは宮城さんの案内で「ブナ太郎」まで辿り着くことができた。11:30 着。宮城さんが巻尺を持参しており、雪が深いので地面から 2m 程のところで、幹の周径 6m20cm であった。見事なブナの大木である。

ランチタイムの後、往路にて下山。下山は 1 時間 30 分程であった。私は 2 回目であったがやっと「ブナ太郎」の位置が分かった。好天に恵まれて快適な見学会となりました。

幹回り測定中

